**必ず電源を切り、本体が冷えてから行う。**

## 吸・排気カバー

**薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。**
たわしやみがき粉は使わないでください。

ご注意
- 汚れて目詰まりしたまま使うと、安全装置が作動して通電を停止したり、グリル使用中にグリルドアから煙がもれたりする場合があります。
- お手入れ後は、水気をよくふき取り、本体に必ずセットしてください。

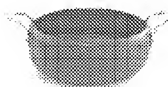
**グリルのお手入れは**
P.32〜33

## 天ぷら鍋（付属品）

**①薄めた台所用洗剤（中性）とお湯で洗う。**
- たわしやみがき粉（クレンザー）は使用しないでください。

**②鍋底や外側の異物や汚れをとる。**
- 汚れがこびりついたまま使うと、油温を正しくコントロールできないことがあります。またトッププレートが汚れます。

**③洗い終わったら水気を切り、乾いたら内側に軽く食用油をぬる。**
- 洗ったままにしておくとさびます。
  天ぷら鍋に同梱の説明書をよく読んでご使用ください。
- 鍋底が反ってきたり、変形した場合は使用しないでください。お買い上げの販売店でお買い求めください。P.5



## 上面操作パネル部

**やわらかい布でふき取る。**
汚れがひどいときは、台所用洗剤（中性）を薄めて、ふきんにしみ込ませてふき取り、その後乾いたふきんでからぶきする。

ご注意
- **水にぬらさないでください。故障の原因となります。**
- **ベンジン・シンナー・漂白剤・アルカリ性洗剤は使わない。**
- **金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。**

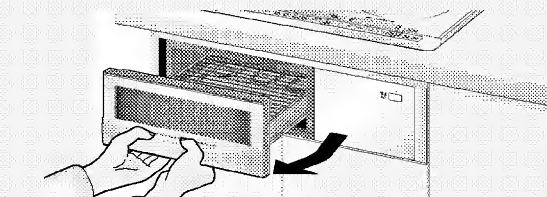
# お手入れ（つづき）



**注意**　●お手入れは、

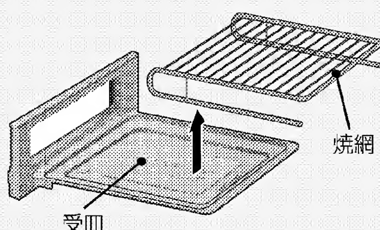
## グリルドア・受皿・焼網の取り外しかた

**1** とってを両手でしっかり持ち、ゆっくり止まるまで引き出し、手前を少し上に持ち上げながら外す

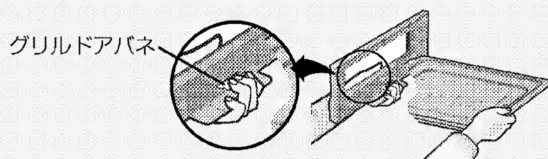


受皿内の水・脂などをこぼさないように注意してください。

**2** 焼網を外す

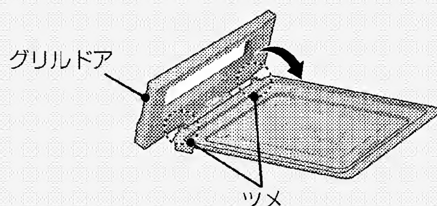



**3** とっての下側に手をまわし、グリルドアバネを軽く引き下げる



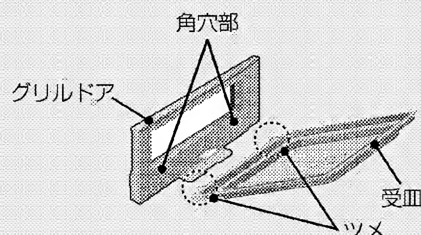

グリルドアバネを押さえずに無理に外すとグリルドアが破損したり、変形することがあります。

**4** グリルドアを受皿側へ倒すようにし、左右2個のツメを外す



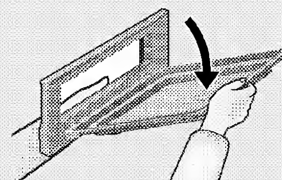

## グリルドア・受皿・焼網の取り付けかた

**1** 受皿を斜めにし左右2個のツメをグリルドアの角穴部に下より差し込む



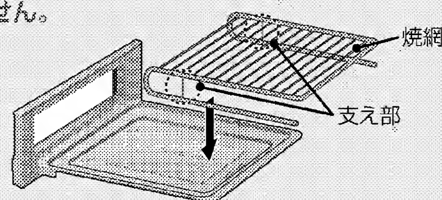

**2** グリルドアを手で支え、受皿を図のように下げる

カチッと音がして受皿が固定されます。

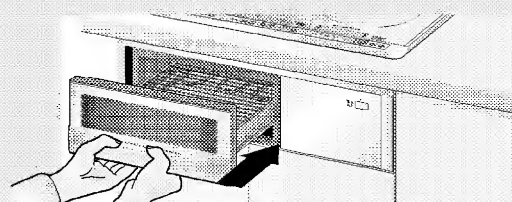


**3** 焼網を載せる

焼網は、支え部をグリルの手前にして載せてください。
載せる向きを逆にすると、本体に取り付けられません。



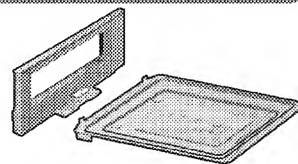

**4** 斜め上からはめ込み、密着するまでゆっくり押し込む



**必ず電源を切り、本体が冷えてから行う。**

## グリルドア・受皿のお手入れ

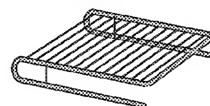
薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。



ご注意
- ●ご使用のたびにお手入れしてください。
- ●たわし・みがき粉は使用しないでください。（表面を傷つけます。）
- ●グリルドアは、食器洗い乾燥機や食器乾燥器には入れないでください。（樹脂部が変形します。）

## 焼網のお手入れ

薄めた台所用洗剤（中性）とスポンジで洗う。



ご注意 焼網のフッ素加工を傷めないでください。
- ●金属製のたわし・スポンジのナイロン面でこすらないでください。フッ素加工に傷が付いたりはがれたりすることがあります。
- ●焼網は食器洗い乾燥機に入れたり、アルカリ性の洗剤で洗ったりしないでください。
- ●ご使用のたびにお手入れしてください。
  汚れがこびりつくと調理物が取りにくくなることがあります。
- ●焼網は消耗品です。フッ素加工が傷んだ場合は、お買い上げの販売店でお買い求めください。→ P.5

## グリル庫内のお手入れ

庫内クリーニングをご使用ください。グリル庫内の油汚れを乾燥させ、においを軽減することができます。

**準備** **焼網を取り外し、グリルドアを確実に閉める**
（焼網を入れたまま庫内クリーニングをするとフッ素加工を傷めます）

**1** 電源 切/入 を「ピッ」と鳴るまで押し、
**電源を入れる**（ランプが点灯します）

**2** 庫内清掃 を3秒押し、**表示部に「CL」を表示させる**
クリーニング3秒押し

**3** 切/スタート を押し、**通電する**
メロディーが鳴ったら終了です。

**4** 続けて使わないときは
電源 切/入 を押し、**電源を切る**
（ランプが消灯します）

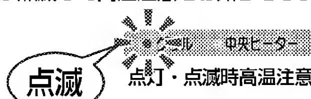
ご注意
- ●においを軽減しますが、汚れは除去できません。
- ●クリーニング中は、グリル庫内の油を焼き切るため煙が出る場合があります。必ず換気扇を使用してください。

グリル庫内に落ちた食品カスなどは、グリル庫内が冷えてから手袋などをして取り除いてください。

ご注意
グリル庫内は金属部が数多くありますので、やけどやけがに十分注意してください。

クリーニング中は表示部に CL を表示します。
約10分で終了します。
途中で運転を停止したいときは 切/スタート を押す

●庫内の温度が約80℃以下になるまでグリルの高温注意ランプが点滅して**高温注意**をお知らせします。



# 故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、次のことをお調べください。

電源が入らない／通電しない

| 現象 | 原因 |
| --- | --- |
| 電源が入らない。<br>通電しない。 | ●専用ブレーカーが切れていませんか。<br>専用ブレーカーを入れてください。<br>●電源が切れていませんか。（電源ランプが消えている。）<br>電源を入れてください。<br>• 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。<br>電源ランプが点灯します。<br>電源を「入」の状態で約30分放置するとオートパワーオフ機能が働き、自動的に電源が切れます。 |
| 通電しない。 | ●チャイルドロックが設定されていませんか。<br>チャイルドロックを解除してください。（→P.29）<br>●中央ヒーターロックが設定されていませんか。<br>中央ヒーターロックを解除してください。（→P.29）<br>●左･右ヒーターで使える鍋を使用していますか。<br>使える鍋を使用してください。（使える鍋について →P.12） |
| 使用途中にヒーターの通電が停止した。<br>（切り忘れ防止自動停止機能） | ●切り忘れ防止自動停止機能が働いています。<br>各ヒーターに一定時間経過すると自動的に通電を停止する、切り忘れ防止自動停止機能が設けられています。<br>• 左･右･中央ヒーターは操作後約45分<br>• グリル（手動調理）は約30分<br>切り忘れ防止自動停止機能が働いた時はブザーでお知らせします。<br>再度、通電をスタートしてください。 |
| 液晶表示の火力バーが交互に点灯し、約30秒後に消灯した。<br>（小物検知自動停止機能、鍋無し自動停止機能） | ●鍋をヒーターの中央に置いていますか。<br>鍋をヒーターの中央に置いてください。<br>●使えない鍋を置いていませんか。（→P.12）<br>使える鍋を置いてください。<br>• 図は火力「7」で使用した場合。<br>高温注意 鍋確認 7 ⇔ 高温注意 鍋確認 7<br>約30秒後、ブザーが鳴り、液晶表示が消え、通電を停止します。<br>• 付属の天ぷら鍋で確認しても同じ場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。 |
| 使用途中に停電になった。 | ●通電中のヒーターは停止し、タイマーも取り消されます。<br>●電源を入れ、もう一度操作を初めから行ってください。<br>• 電源スイッチをブザーが鳴るまで押してください。<br>電源ランプが点灯します。<br> ⚠警告  トッププレートやグリルドアおよび庫内など高温部に触れない。 |